

| | | | |
|------------------------|--|--------|-------------------|
| 科目名 | フィールドワーク（職業選択とインターンシップ） | 授業形態 | |
| 英語科目名 | Field Work | 開講学期 | 2022年度前期、2022年度後期 |
| 対象学年 | 1年 | 単位数 | 4単位 |
| 代表教員 | 四方 昌利 | ナンバリング | 6001 |
| 担当教員 | 四方 昌利、道谷 里英、平林 正樹 | | |
| 授業概要 | | | |
| 全体内容 | <p>本学部の多くの学生は、卒業後に企業・組織への就職を予定していると思われます。企業による採用活動は早期化・多様化している一方で、情報の氾濫によって社会に出るにあたっての不安を感じたり戸惑ったりしている学生もいることでしょう。</p> <p>当科目では、「就活って、何から始めたらいいかわからない」、「自分がやりたいことが決まらない」、「そもそも就職できるだろうか」などの疑問や不安を抱えている学生のみならず、職業選択にあたっての正しい情報を修得し、自己理解・企業訪問・仲間づくりといった自律した行動をとおして大きく成長することを目的としています。</p> <p>この目的を実現するために、以下のイベント等への参加を組み込んだフィールドワーク科目として企画されました。</p> <p>①就職活動キックオフ：就職活動への意識醸成と自己理解を深めることを目的として、ワークショップ、卒業生の体験談、現役社会人によるフィードバックなどの充実したプログラムによるイベントを予定しています（時期：5月28日（土）を予定）。</p> <p>②インターンシップ：夏季休暇期間中に「合計5日間以上」のインターンシップに自主的に参加すること。</p> <p>③キャリア支援セミナー：通年にわたり開催されるキャリア支援セミナーに、「10回以上」参加すること。</p> <p>当科目は、SWT（School to Work Transition：学校から仕事・社会への移行）期の職業選択に焦点を絞った科目です。キャリアデザインⅠ／Ⅱ科目の実践・応用科目として企画され、キャリア教育担当教員と就職・キャリア支援室スタッフ、さらには学外の社会人サポーター等との協働によって運営されます。従って、適宜学外の社会人の登壇と情報提供、ディスカッション等も想定しています。</p> <p>2019年度以降の入学生が履修登録可能な科目です。内容は、就職活動が実質的に始まる3年生を対象として想定しています。また、きめ細やかなフォローが必要なことから、履修登録者数を制限することがあります。履修希望者は必ず1回目の授業に参加してください。出席していない学生は履修を認められないことがありますので注意してください。</p> | | |
| 到達目標 | <p>次の3つの力を身につけること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業選択にあたって必要な自己理解・職業理解・企業理解の方法を知り、意思決定する力。 2. 満足のいく職業選択に必要な行動を、自律的・主体的に起こす力。 3. 同じ目標を持った仲間づくりをとおした、豊かなコミュニケーション能力。 | | |
| 授業の位置づけ | フィールドワーク科目 | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p> | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・この科目はフィールドワーク科目ですので、「キャップ制」の対象外です。「年間履修登録単位数」上限の枠外として、履修登録が可能です。 ・この科目は個人ワークやグループワーク、発表等とおして自分と向き合いながら、皆さん自身が進路決定することを応援する科目です。就活に立ち向かう心構えと自信を手に入れましょう。 ・本講座の履修対象者は、3年生および2年生とします。本講座はタイトルの通り、キャリアデザインの中でも職業選択（就職）活動を意識した実戦的な内容となっています。例えば、授業もインターンシップやセミナーへの参加だけでなく具体的な採用選考のための演習も組み込まれています。従って、授業やグループワーク等の質を極力高めるために、履修対象者を限定します。 | | |
| 成績評価の方法 | | | |
| 評価方法 | <p>講義、就職活動キックオフ、キャリア支援セミナー等を含むすべてのアクティビティに対する出席・参画度合によって判断します。評価は「単位認定（合格）」もしくは「単位否認定（不合格）」のいずれかとなります。</p> <p>単位認定には、以下の条件を全て満たす必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①5月28日（土）（予定）に実施する「就職活動集中トレーニング」の全行程に参加すること。 ②就職・キャリア支援室が主催するキャリア支援セミナーに、2022年度通期で10回以上出席すること。 （①の「就職活動集中トレーニング」は、キャリア支援セミナーにはカウントしません） ③夏季休業期間中に合計5日間以上、インターンシップに自らの力で参加すること。 | | |
| 評価基準 | <p>事前学習および準備も含めた上で、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①5月28日（土）（予定）に実施する「就職活動集中トレーニング」の全行程に参加すること。 ②就職・キャリア支援室が主催するキャリア支援セミナーに、2022年度通期で10回以上出席すること。 （①の「就職活動集中トレーニング」は、キャリア支援セミナーにはカウントしません） ③夏季休業期間中に合計5日間以上、インターンシップに自らの力で参加すること。 <p>の3点をすべて満たすことで単位を認定します。</p> | | |

| | | | |
|------------------------|--|--------|----------|
| 科目名 | フィールドワーク（起業力養成とビジネスプラン作成） | 授業形態 | 実験・実習 |
| 英語科目名 | Field Work | 開講学期 | 2022年度前期 |
| 対象学年 | 1年 | 単位数 | 2単位 |
| 代表教員 | 平林 正樹 | ナンバリング | 6001 |
| 担当教員 | 平林 正樹 | | |
| 授業概要 | | | |
| 全体内容 | <p>経済のグローバル化が進み、社会の変化の速度がますます激しくなる時代の中にあって、皆さんは自らの将来にどのような思いを馳せているでしょうか。</p> <p>「いつかは起業してみたい」と考えている方はもちろん、企業・団体に就職するにしても、公務員を目指していても、はたまた研究者の道を歩もうとされてる学生にとっても、これからの時代を生き抜くためには「起業家精神（アントレプレナーシップ）」が必要となります。</p> <p>VUCAの時代（※2）においては、大企業にずっといることの方がリスクの高い時代でもあります。そもそも、人の寿命よりも企業の寿命の方が短い時代です。今や、誰もが「起業」という選択肢を持っておく必要があるといえましょう。</p> <p>当科目は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマインドを身につけること ・キャリアの選択肢を広げること ・「起業家精神」を養成し、世の中にインパクトを与える企業家・起業家を輩出すること ・グループワークを通して他者との価値観の違いに気づき、協調して成果物を形にすることを目標にしています。 <p>全15回の内訳は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部の起業支援専門家によるビジネスプラン作成のための講義とグループワーク（7回） ・科目担当教員による講義（4回） ・現役起業家によるゲスト講義（3回） ・ビジネスプラン発表会（最終回） <p>なお授業外でのグループワークによって成果物（ビジネスプラン）を完成させ、発表会で発表することが求められます。</p> <p>※1：初回授業は「2022年4月6日（水）」です。全15回とするために、7月21日（木）に「ビジネスプラン発表会」を予定しています。それぞれ全員が出席する必要があります。</p> <p>※2：「VUCAの時代」とは、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の4つの単語の頭文字をとった造語で、「ブーカ」と読む。あらゆるものを取り巻く環境が複雑性を増し、想定外の事象が次々と発生するため将来の予測が困難な正解のない時代」を意味する。</p> | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 起業や企業経営に必要な基礎知識を身につけることができる。 2. 「社会の困りごと」からビジネスの芽を見つけ、ビジネスプランにまで落とし込む力を身につけることができる。 3. 価値観の異なる仲間たちと協業しながら、一つの成果物を生み出す力を養うことができる。 | | |
| 授業の位置づけ | フィールドワーク科目 | | |
| ディプロマ・ポリシー、コンピテンシーとの関連 | <p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p> | | |
| 履修上の注意、履修要件 | <p>当科目は、1年生の後期に配置されている『経営学概論』を履修した後（2年生以降）に履修されることをお勧めします。</p> <p>当科目の単位認定には、以下の全てを満たす必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全授業回数の2/3以上に出席すること。 2. グループワークに主体的に参画し、グループの提案書完成に貢献をすること。フリーライド（タダ乗り）は許されません。 3. 各回の課題や提出物を遅滞なく提出すること。 4. 7月21日（木）に行われるビジネスプラン発表会に主体的に参画すること。 <p>※1：初回授業は「2022年4月6日（水）」の予定です。</p> <p>※2：この科目はフィールドワーク科目ですので、「キャップ制」の対象外です。「年間履修登録単位数上限」の枠外として、履修登録が可能です。</p> <p>※3：当科目は4～5名を一つのグループとしてビジネスプランを作成します。教育効果の観点から、履修登録者数の上限を「およそ30名」に制限します。履修希望者は必ず1回目の授業に参加してください。出席していない学生は履修を認められないことがありますので注意してください。</p> <p>※4：教育効果の観点から、「対面授業のみ」とします。「ハイフレックス制」ではありませんので、オンラインによる受講はできません。</p> <p>※5：履修対象の学年は、全学年です。</p> | | |
| 成績評価の方法 | | | |
| 評価方法 | 平常点（各回のリアクション・ペーパー：45%）、期末テスト（25%）、ビジネスプラン作成への貢献と発表（30%）を統合して評価する。 | | |

| 評価基準 | <ul style="list-style-type: none"> ・平常点：各回の授業から学びを得たこと、気づきがあったこと、今後のキャリアに参考にしたいことなどを適切な文章にして言語化できる。 ・期末テスト：講義内で重要なポイントを知識として理解し、説明できる。 ・ビジネスプラン作成への貢献と発表：グループの一員として高い貢献をしている、起業プランとしての完成度が高いこと。 | | | |
|---|---|---|--------|--|
| 試験・課題等に対するフィードバック方法 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・平常点：GoogleClassroomを活用してフィードバックする。 ・期末テスト：試験終了後にGoogleClassroomにて正解例を共有する。 ・ビジネスプラン発表：発表会当日に審査員より講評する。 | | | | |
| テキスト | | | | |
| 特になし | | | | |
| 参考文献 | | | | |
| ・参考文献は、随時紹介します。 | | | | |
| その他 | | | | |
| 連絡先・オフィスアワー | <p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火曜4限、水曜3限、金曜2～4限 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火曜3～4限、水曜3限、金曜4限 <p>※他の時間でも対応可能な場合がありますので、前日までにメールにて連絡をいただくと助かります。 メールアドレス： m-hirabayashi@juntendo.ac.jp</p> | | | |
| 担当教員の実務経験 | 民間企業における営業職（17年間）および人事職（18年間）での職務経験あり。 | | | |
| 備考 | | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 授業回 | 担当者 | 授業内容 | 授業方法 ※ | 予習・復習・レポート課題等と学習時間 |
| 1 | 平林正樹 | オリエンテーション ビジネスとは顧客に価値を届けること | | 【予習】事前配布資料の予習、「自分が起業するとしたらどんな業態・ビジネスなのか」を妄想しておく（90分） 【復習】学び・気づきの整理、「志望理由書」の作成・提出（90分） |
| 2 | 平林正樹（小林佑一氏） | 【講義1】（外部講師） 創業の心構え／ビジネスプランの立て方 | | 【予習】事前課題（90分） 【復習】学び・気づきの整理（90分） |
| 3 | 平林正樹（小林佑一氏） | 【講義2】（外部講師） ? 事業について ? 提携先と役割 | | 【予習】事前課題（90分） 【復習】学び・気づきの整理（90分） |
| 4 | 平林正樹（小林佑一氏） | 【ワークショップ1】（外部講師） 連携・協力ができそうな団体・個人／事業プランの整理 | | 【予習】事前課題（90分） 【復習】目標の設定／グループ行動スケジュールの策定（90分） |
| 5 | 平林正樹（小林佑一氏） | 【ゲスト講師1】（外部講師） インターネット広告業社長 | | 【予習】講師に関する事前調査と質問提出（90分） 【復習】学び・気づきの整理と提出（90分） |
| 6 | 平林正樹（小林佑一氏） | 【ワークショップ2】 事業計画書の作成 | | 【予習】講師に関する事前調査と質問提出（90分） 【復習】学び・気づきの整理と提出（90分） |
| 7 | 平林正樹（小林佑一氏） | 【講義3】（外部講師） 経営管理／資金調達／収支計画 | | 【予習】事前課題（90分） 【復習】グループワークによる発表会の準備（90分） |
| 8 | 平林正樹（小林佑一氏） | 【講義4】（外部講師） 商品・サービスについて／プレゼンテーション | | 【予習】事前課題（90分） 【復習】グループワークによる発表会の準備（90分） |
| 9 | 平林正樹（小林佑一氏） | 【ワークショップ3】（外部講師） 事業計画書の作成 | | 【予習】事前課題（90分） 【復習】グループワークによる発表会の準備（90分） |
| 10 | 平林正樹（小林佑一氏） | 【ゲスト講師2】（外部講師） 女性起業家 | | 【予習】講師に関する事前調査と質問提出（90分） 【復習】学び・気づきの整理と提出（90分） |
| 11 | 平林正樹 | 【講義5】 ビジネスモデル～「収益モデル」を中心に～ | | 【予習】事前課題（90分） 【復習】グループワークによる発表会の準備（90分） |

